

共通教育広報

2015

April

新入生のための

鹿児島大学ガイド



鹿大に入ったら
まず最初に読んで欲しい本

CONTENTS

- 1 鹿児島大学憲章
鹿児島大学学生憲章
鹿児島大学教育目標
- 2 新入生の4月行事予定表
窓口案内

共通教育について

- 3 共通教育について
- 5 海外研修と地域研修
- 6 外国語教育
学習達成度を測る GPA 制度
教育センター長賞

大学生の基礎知識

- 7 シラバスってなに?
- 8 学生証ってどんなときに必要?
時間割を作成する前に
- 9 時間割を作成してみよう!
- 11 パソコンの利用について
- 12 Moodleを活用してみよう!
- 13 窓口・掲示板・共通教育係からのお願い
- 14 ピア・サポートについて

充実したキャンパスライフのために

- 15 附属図書館
男女共同参画推進センター
- 16 保健管理センター
障害学生支援センター
学生何でも相談室
- 17 留学生センター
就職支援センター
ボランティア支援センター
- 18 キャンパスウォーク



鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

平成19年11月15日制定(第58回鹿児島大学開学記念日)

鹿児島大学学生憲章

私たちは、鹿児島大学の学生であることを誇りとし、学ぶことのできる環境に感謝し、桜島のように気高く、時には激しさを持ち、自らを磨き、未来を拓いていきます。

1. 私たちは、我が国の変革と近代化を推進した先人達の「進取の精神」を継承し、困難な課題にも果敢に挑戦し、強い意志と柔軟な心を持って自己実現を図ります。
2. 私たちは、幅広い教養を身につけ、高度で専門的な知識・技能を修得し、地球的視野を持って活躍する人間になることを目指します。
3. 私たちは、サークル活動などの課外活動に積極的に参加し、仲間との友情を育み、思いやり深く魅力溢れる人間になります。
4. 私たちは、地域社会との関わりの中で、一人の人間として責任ある行動を心がけ、社会に貢献できるよう全力を尽くします。

平成22年11月15日制定(第61回鹿児島大学開学記念日)

鹿児島大学教育目標

前文

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

平成23年12月15日制定

平成27年度

新入生の4月行事予定表

【日】 【曜日】

【行事予定】

1	水	既修得単位認定申請(17:00まで)※7月にも申請可。詳しくは共通教育係へ 技能審査合格者等单位認定申請(~21日) オリエンテーション資料配布
2	木	各種証明書申し込み開始
3	金	履修申請(1回目) 健康診断予約・健康調査、学術情報基盤センター利用証発行等 日本学生支援機構大学等奨学生「採用候補者決定通知」提出
7	火	入学式(午前) 履修申請(2回目)(午後)
9	木	日本学生支援機構奨学金申し込み説明会(~10日) 学生定期健康診断(~28日)
10	金	前期授業開始・講義教室発表 日本学生支援機構大学等奨学金在学届提出締め切り
17	金	履修申請(3回目)



鹿児島大学公式マスコットキャラクター

さっしん

窓口案内

	事 項	担 当
修 学 面	共通教育に関する相談(オリエンテーション、履修申請、欠席届、試験・成績発表、成績等開示請求及び異議申立て、既修得単位の申請・認定、通学証明書)	教育センター共通教育係
	専門教育に関する相談(オリエンテーション、学生カード等の提出、学生証の発行、履修申請、欠席届、試験・成績発表、成績等開示請求及び異議申立て、既修得単位の申請・認定、入講許可証の申込み、休学届、退学届、復学願、転学願)	所属学部・研究科の教務又は学生担当係
	授業料・寄宿料納入についての問い合わせ	経理課収入係、医歯学総合研究科経理係
	入学料免除・徴収猶予、授業料免除	学生生活課経済支援係
	奨学金	学生生活課学生企画係
	学生教育研究災害傷害保険申込み	学生生活課課外活動係、所属学部・研究科の教務又は学生担当係
	海外留学に関する情報提供、留学生の在学中の諸相談	国際事業課留学生係
	就職に関する情報提供・相談	就職支援センター
	修学支援に関する相談	障害学生支援センター
	学業上の悩みに対する相談	学生何でも相談室、所属学部・研究科の教務係、ピア・サポートルーム
生 活 面	学生寮への入寮・退寮の申込み	学生生活課生活支援係
	国際交流会館への入居・退去の申込み	国際事業課留学生係
	課外活動施設の利用願、団体結成願、課外活動に関する相談	学生生活課課外活動係
	スポーツ安全保険申込み	学生生活課課外活動係
	学生生活上の悩みに対する相談	学生何でも相談室、所属学部・研究科の学生担当係、教育センター、ピア・サポートルーム
	学生定期健康診断、診察・検査、応急処置、心理相談	保健管理センター
	ボランティア活動	ボランティア支援センター

※その他わからないことや困ったことがあれば、学生何でも相談室へ相談してください。

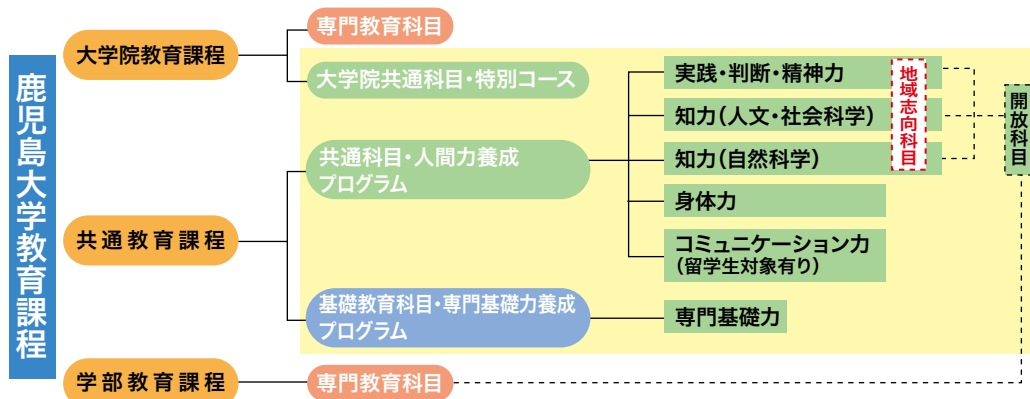
共通教育について

新入生の皆さん、鹿児島大学によろこそ。皆さんが入学すると、まず共通教育の授業を主として受講することになります。共通教育を担う教育センターでは、下記のような学習・教育目標を達成するために、「人間力養成プログラム」と「専門基礎力養成プログラム」によって編成された共通教育課程を実施しています。鹿児島大学での学習は皆、ここから始まります。

それでは共通教育の概要を説明します。

1. 共通教育の学習・教育目標は次のとおりです。

- ①倫理観に支えられた社会参画意識と社会貢献意欲をもち、地域に学んでその問題に継続して果敢に取り組むことができる。
- ②自己開発と自己管理能力をもち、チームワーク活動で適切なリーダーシップを発揮できる。
- ③文化、社会、自然に関する適切な認識と深い理解を持っている。
- ④日本語表現力と国際社会でのコミュニケーション能力を発揮できる。
- ⑤科学的方法を理解し、応用能力を身に付け、絶えず向上心を持ち続ける。



2. 学習・教育目標を達成するための能力を養成する共通教育課程を分類すると下表のようになります。

◎共通教育科目・人間力養成プログラム

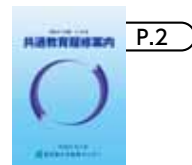
大分類	中分類 (a~f) および小分類 (28科目群)
共通教育科目・人間力養成プログラム	a 実践・判断・精神力 1. 大学での学び 2. 自己確立・他者理解を学ぶ 3. 地域・体験を学ぶ 4. 国際交流を学ぶ 5. ボランティアを学ぶ 6. 環境を学ぶ 7. 保健を学ぶ
	b 知力 (人文・社会科学) 8. 文学・芸術を学ぶ 9. 歴史・地理を学ぶ 10. 法・政治を学ぶ 11. 経済・経営を学ぶ 12. 社会を学ぶ 13. 心理を学ぶ
	c 知力 (自然科学) 14. 数学を学ぶ 15. 物理・宇宙・地球を学ぶ 16. 化学を学ぶ 17. 生物学を学ぶ 18. 応用技術を学ぶ
	d 身体力 19. 体育・健康を学ぶ
	e コミュニケーション力 20. 情報・通信を学ぶ 21. 外国語を学ぶ 22. 日本語・日本事情を学ぶ
	※地域志向科目 a 実践・判断・精神力、b 知力 (人文・社会科学)、c 知力 (自然科学) において指定されている科目 [4ページ・平成27年度地域志向科目一覧参照]

◎基礎教育科目・専門基礎力養成プログラム

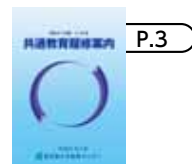
基礎教育科目・専門基礎力養成プログラム	f 専門基礎力 23. 数学 24. 物理学 25. 化学 26. 地学 27. 生命科学 28. 生物・生態学
---------------------	---

(1) 共通教育課程を「共通教育科目・人間力養成プログラム」と「基礎教育科目・専門基礎力養成プログラム」に大きく分類します (大分類)。学習・教育目標の①～④を達成するために前者があり、⑤を達成するために後者があります。

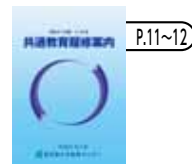
関連ページ



P.2



P.3



P.11~12

(2) さらに「**共通教育科目・人間力養成プログラム**」については、養成する能力別に、「a 実践・判断・精神力」「b 知力(人文・社会科学)」「c 知力(自然科学)」「d 身体力」「e コミュニケーション力」の5つに分類します(中分類)。また、平成27年度入学生には、**地域志向科目(※)**が指定されています。

<実践・判断・精神力を養成する教育科目>

人文・社会・自然科学の基本的な枠組みにとらわれない、「人間力養成プログラム」の主軸となるもので、「大学での学び」「自己確立・他者理解を学ぶ」「地域・体験を学ぶ」「国際交流を学ぶ」「ボランティアを学ぶ」「環境を学ぶ」「保健を学ぶ」の7つの科目群を設け、実践力、判断力、精神力を養います。

<知力を養成する教育科目>

人文・社会科学と自然科学に区分していて、小分類(～を学ぶ)が示すように、これらの科目群は人文・社会・自然科学の各学問分野に属する教育科目として、専門教育科目にも深く関わっていくこととなります。

<身体力を養成する教育科目>

「体育・健康を学ぶ」科目群を設けて、生涯にわたって健康や体力を維持・増進する力を養います。

<コミュニケーション力を養成する教育科目>

情報通信技術を身につける「情報・通信を学ぶ」、英語、独語、仏語、中国語、韓国語と多種にわたる言語と文化を学習する「外国語を学ぶ」、留学生のための授業である「日本語・日本事情を学ぶ」の3つの科目群を設けて、コミュニケーション力を養います。

※地域志向科目

地域課題を発見、探究、分析・解決し、地域社会の発展に貢献できる行動力を養います。

平成27年度
地域志向科目一覧

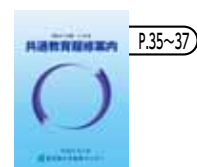
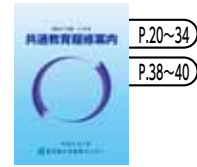
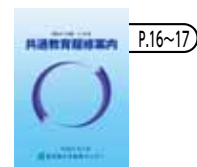
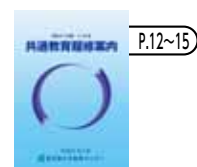
開講期	科目名	単位	開講区分	中分類
前期	鹿児島探訪―文化―	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	環境ビジネスI	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	自然学校へ行こう!	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	いのちと地域を守る防災学I	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	奄美の民俗文化	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	鹿児島探訪―環境―	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	鹿児島島の歴史地理	2	毎週	b. 知力:人文・社会科学
	鹿児島探訪―歴史―	2	毎週	b. 知力:人文・社会科学
	地域政策論	2	毎週	b. 知力:人文・社会科学
	有機農業I 新しい食と農のかたち	2	毎週	a. 実践・判断・精神力
	焼酎	2	毎週	c. 知力:自然科学
	シラス地域学	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	地域防災学実践I	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	地域防災学実践II	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	屋久島の環境文化I―植生―	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	屋久島の環境文化II―生き物―	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	有機農業III 田んぼでアウトドア	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	かごしまフィールドスクール	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	かごしま教養プログラム	2	集中	a. 実践・判断・精神力
	後期	焼酎	2	毎週
奄美の民俗文化		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
いのちと地域を守る防災学II		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
地域ブランドを学ぶ		2	毎週	b. 知力:人文・社会科学
鹿児島探訪―環境―		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
鹿児島探訪―歴史―		2	毎週	b. 知力:人文・社会科学
鹿児島探訪―地域産業―		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
鹿児島探訪―循環型社会と世界遺産―		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
地域づくりのためのワークショップ		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
自然環境保全と世界遺産		2	毎週	a. 実践・判断・精神力
与論島の自然と人々		2	集中	a. 実践・判断・精神力
島のしくみ		2	集中	a. 実践・判断・精神力
屋久島の環境文化IV―生活と文化―		2	集中	a. 実践・判断・精神力
屋久島の環境文化III―産業―	2	集中	a. 実践・判断・精神力	

(3) 「**基礎教育科目・専門基礎力養成プログラム**」については、「f 専門基礎力」すなわち専門教育科目を学ぶための基礎となる能力を養成するプログラムで、学問分野毎に開設しています。

3. 教育センターが開講する、以上の教育科目とは別に、「開放科目」という科目もあります。これは各学部で開講する専門教育科目ですが、その学部以外の学生も受講できるように開講している科目です。

4. 詳しいことは『平成27年度共通教育履修案内』に書いてありますので、必ず読んでください。

関連ページ



平成27年度共通教育履修案内

共通教育について

海外研修と地域研修

鹿児島大学憲章において、「自主自律と進取の精神」の育成が謳われています。共通教育の学習・教育目標においても、「自己開発と自己管理能力」の育成の他に、「社会参画意識と社会貢献意欲」や「国際社会でのコミュニケーション能力」などの育成を目指しています。

これらの能力を育成するための教育プログラムとして、人間力養成プログラムがあります。そのプログラムには、海外短期研修 13 科目と地域研修 15 科目が含まれており、地域研修の科目には県内の他大学等の学生と共に学ぶ科目もあります。これらの授業科目は、海外や地域社会を自ら体験し調査するという実践的な学習を通して、課題を発見し解決できる能力を育成するものです。写真1と2は海外短期研修授業を、写真3は屋久島における地域体験授業を、写真4は他大学等の学生との鹿児島市紫原地区における地域体験授業を、それぞれ示しています。

関連ページ



写真1：北米におけるグローバル人材育成（アメリカ）



写真2：国際協力体験講座-東南アジアファームステイ（タイ）



写真3：屋久島の環境文化Ⅲ-産業-（屋久島）



写真4：かごしまフィールドスクール（鹿児島市紫原地区）

先輩からのメッセージ

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。あなたが思い描くのはどのようなキャンパスライフですか？4年間は意外と短いものです。せっかくなので専門分野にこだわらず自分で学びたいことをとことん突き詰めてみてください！世界一周の夢を持つ私は昨年「共生のためのフェアトレードⅡ」に参加してバングラデシュを訪れ、ツアーパックでは体験することのできない現地の人々との生の交流を通じて、自分自身や日本のことを外の視点からみつめなおすと同時に「発展」の意味について深く考えることができました。学生の特権を生かして、できる限り多様な分野、地域、国の人と繋がってみてください。驚くほど世界が広がるはずですよ。



法文学部
経済情報学科4年
出水翔子

外国語教育

鹿児島大学の共通教育における教育・学習目標のひとつに、「日本語能力と国際社会でのコミュニケーション能力の発揮」があります。その目標を達成するために、外国語科目(英語、独語、仏語、中国語、韓国語、留学生のための日本語等)を学び、選択科目の中にも、フィリピン語やアラビア語などを手掛かりに、その言葉を用いる地域について学ぶ科目があります。グローバルな世界に触れるために外国語学習に取り組むことは、母国語の認識を深める手立てとなります。以下、外国語学習の特色について簡単に紹介します。

(1) 共通教育における G-TELP (国際英検) の活用：基礎固めと更なる実力アップを!

G-TELP(ジーテルプ)という英語外部試験を、大学負担で1年次から全員が2回~3回受験します。個人の英語力の伸びをみる試験で、自主・自律的な学習成果を測ることを主眼としています。英語によるコミュニケーションの土台となる文法や聴解、語彙・読解に関する総合的な英語力が試されますが、Moodle(P.12)というWeb上のシステムを利用し事前に指導します(cf. また、このMoodle上には外国語に関する自学学習用の番組やアプリ・サイトが紹介されていますので、一度ご覧のうえご活用ください)。試験結果をもとに学習指針を見直すとともに、学習の成果は成績に反映され、優秀賞や努力賞が授与されます。期待と勇気をもって果敢に取り組んでください。

(2) 新しい言語と文化に出会う機会を活かす：グローバルな世界へ、プラスαの実力を!

大学生活という新しいスタートラインに立った今こそ、新しい外国語に挑戦するチャンスです。新たに学ぶ外国語も、言語ごとに用意された外部試験の級やスコアを目標に、楽しみながら学習できます。グローバル化した社会にあって、英語に加えて、プラスαの実力を蓄えることで、言語をとおして見えてくる人類の文化の豊かさを学びましょう(『履修案内』やリーフレット『共通教育外国語科目の紹介』等を参照)。

(3) TOEIC 公開テストの活用：就職対策や実力養成の一助に!

TOEICは、主にビジネス英語に関する英語外部試験の一種です。鹿児島で実施されるTOEIC公開テストが、大学の補助で通常より安く受験できるようになっています。詳細は、学生部教務課教育推進係、鹿大生協スタディサポート窓口にお問い合わせください。

※TOEIC公開テストの試験日など詳しくは、本学ホームページ(在学生の皆さまへ>自主学習等)をご覧ください。

関連ページ



先輩からのメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高校時代に受験で英語に苦労したことのある人は多いのではないのでしょうか。かく言う私もそのうちの一人でした。高校の頃から英語が苦手でしたから、大学に入学してからは「とりあえず講義についていくこと」を目標に英語の講義を受けていました。ネイティブの先生による授業を受けていましたので、少しでも理解できるように集中して先生の話の聴いていました。今思い返すと、集中して授業を受けていたことがG-TELPの点が前期から後期にかけて伸びた理由だと思えます。

今回、G-TELP努力賞を受賞してさらに英語の勉強を頑張ろうと思いました。新入生の皆さんも色々なことにチャレンジしてみてください。



医学部
医学科2年
竹内 一輝

学修達成度を測るGPA制度

教育センターでは、GPA制度を導入しています。この制度は、履修科目の単位を修得したかどうかではなく、当該期・年間または通算の学修達成度(GPA値)がどの程度であるかを見ることができます。GPA値を高く保つため、履修科目を放棄したり、低い評価で修得したりすることがないように頑張りましょう。

教育センター長賞 一成績優秀者の表彰制度

共通・基礎教育科目の卒業要件を満たした第3期(歯学部、共同獣医学部では第2期)終了時で、特に優秀な成績(GPA値)の各学部上位2名の学生に対して、教育センター長賞が授与されます。

○ [Question] TOEICや英検などの資格を単位として認定してもらえるの?

[Answer]

TOEICや英検に限らず、規定により単位が認定されることがあります。詳しくは、履修案内p.27、p.77をご覧ください。

○ [Question] そもそもGPAとは何の略ですか?

[Answer]

グレード・ポイント・アベレージの略です。履修案内のp.9とp.49~50に詳しく掲載しています。



シラバス(Syllabus)ってなに?

シラバスは、授業に関する説明書です。

シラバスは授業ごとにつくられています。そこには、授業科目名はもちろんのこと、開講時期、授業担当教員名、受講対象者、単位数、授業概要、学習目標、成績の評価基準、教科書・参考書など、いろいろな情報が記載されています。

シラバスは、カリキュラムの中での位置づけを示すものです。

鹿児島大学の共通教育には、達成すべき教育目標があります。教育目標とは、共通教育科目の履修を終えた時に身につけているべき能力や技能を表すものです。それらは、ひとつひとつの科目の教育目標を達成することで可能になります。シラバスには、そうした教育目標を達成するために、この授業がどのような部分を担っているのかが示されています。

シラバスは、授業開始後も読むものです。

学生のみなさんがシラバスを読むのは、履修登録のときが多いでしょう。どの科目を履修するかの参考にするためです。ですが、授業開始後にもシラバスは役立ちます。次回の授業の内容や参考書がわかれば予習ができます。授業の目標や成績評価基準がわかれば、どのような知識や能力を身につければよいかを確認しながら学習ができます。自主的に学習を進めるための参考資料として、常に目をとおすようにしましょう。

関連ページ



P.43
P.88以降

シラバスのここに注目!

■開講年度		■開講部局	
2015		共通教育	
■科目名			
鹿児島探訪—文化—			
■英語科目名			
Touring Kagoshima—Culture—			
■前後期	■開講区分	■科目形態	■単位数
前期	毎週	講義	2
■(25年度以降入学生) 中分類		■(26年度以降入学生) 小分類	
a. 実践・判断・精神力		3. 地域・体験を学ぶ	
■(24年度以前入学生) 大区分		■(24年度以前入学生) 中区分	
		分野1	
■授業科目		■受講学部学科	
全学部			
■担当教員		■担当教員所属	
丹羽謙治		法文学部 人文社会	
■連絡先 (TEL)		■連絡先 (MAIL)	
099-285-8904		dny@sch.kagoshima-u.ac.jp	
■オフィスアワー(授業時間外の対応)			
担当教員が替わって講義が行われるため、授業が終わった後、質問を受ける			
■共同担当教員			
井原慶一郎、西脇謙、山下廣幸、樋口晋作、濱田雄一郎、小澤由美		■サブキーワード	
■メインキーワード		■サブキーワード	
人類知産の理解と修得		人類知産の理解と修得	
■授業概要(目的・内容・方法)			
鹿児島は、中央の文化の影響と琉球口などから流入する外来の文化の影響を受け、独特の文化を形成してきた。本講義は、鹿児島の文化、とりわけ文学(俳句、文学)、美術・工芸、出版、教育、醸造文化、街づくりといった各種のテーマについて、担当教員がリレー形式で講義を行う。本講義の目的は、鹿児島の過去・現在の文化の様相とその特徴をよく理解することであり、そのうえで、未来の地域文化の創造について考えることを期待する。			
■学習目標			
1 地域を直感する現実感覚を身につける。			
2 鹿児島の過去・現在の文化を正しく理解する。			
3 自己の文化の認識を通して異文化への理解ができるようになる。			
■授業計画・試験の有無(16回に分け、回別、授業内容、自学自習)			
1回:	導入	丹羽 謙治	
2回:	鹿児島の近代の文学(一)	樋口 晋作	
3回:	鹿児島の近代の文学(二)	樋口 晋作	
4回:	薩摩の美術・工芸史(一)	山下 廣幸	
5回:	薩摩の美術・工芸史(二)	山下 廣幸	
6回:	薩摩の角隠(一)	小澤由美	
7回:	鹿児島の		
8回:	薩摩の角		
9回:	本格佐尉		
10回:	鹿児島の		
11回:	鹿児島の		
12回:	近世鹿児		
13回:	近世鹿児		
14回:	鹿児島の		
15回:	鹿児島の		
16回:	予備日		
予習としては、鹿児島			

【中分類・小分類】

養成する能力と学ぶ内容で28科目群に分かれます。

【オフィスアワー】

授業時間外に、教員へ質問や相談を行う時間帯をお知らせします。

【教育目標のキーワード】

学習共通教育の学習教育目標のなかで、この授業が担う目標がわかりやすくキーワードで示されています。

【学習目標】

この授業を受講することでどのような知識が身につくのか、どのようなことができるようになるのかが、具体的にわかります。

【授業概要】【授業計画】

この授業がどのような内容を扱い、どのような方法で行われるのかが具体的に書かれています。15回分の授業がどのように進められるのかを知ることができます。

【成績の評価基準】

最終的にどのような方法で成績評価が行われるのかが記載されています。しっかり確認しましょう。

【教科書】【参考書】

授業で使う「教科書」が指定されていたり、授業内容を補う「参考書」などが示されていたりします。自分で勉強していくときにとても役に立ちます。

【地域志向科目の区分、領域】

地域志向科目については区分、領域を確認してください(当該科目のみ)。

学生証ってどんなときに必要?



学生証は常に携帯してください

窓口での手続きや附属図書館での図書の貸し出し、試験等では、学生証の提示が必須です。また、通学定期券の購入や学割証を使用してJR等の切符を購入する時など、学生証の提示を求められることがあります。

この学生証は、証明書発行機や郡元地区の自動車の入退構ゲート(許可者のみ)、中央図書館や一部教室などの入退室、保健管理センターの定期健康診断受付などに利用します。また、キャッシュをチャージすれば、鹿児島大学生生活協同組合(鹿大生協)での買い物にも利用できます。

※学籍番号の見方は、履修案内のp.4を見てください。

証明書発行機で証明書を発行するときは

まず、学務WEBシステムで学生カードの登録が必要です。

登録後、和文の「在学証明書」、「卒業見込証明書」、「成績証明書」、「学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)」、「健康診断証明書」が発行できます。それ以外の証明書(通学証明書、英文証明書など)は、所属する学部の学生担当係か共通教育係に問い合わせてください。

なお、正式な学生証が配布されるまでの間は、発行機に学籍番号を手入力することで、証明書の発行が可能です。

キャンパス	設置場所	利用時間
郡元	大学会館1階	9:00～18:00
	中央図書館1階	8:30～18:00
	教育学部第一講義棟1階	8:30～18:00
	農・獣医共通棟1階	8:30～17:15
下荒田	水産学部講義棟1階	8:30～18:00
桜ヶ丘	桜ヶ丘会館(生協)2階	8:30～18:00

(休日利用)

※大学会館は土のみ利用できます。

※中央図書館は土・日・祝は午前10時からの利用となります。

※桜ヶ丘会館は土・日・祝は利用できません。

※学務WEBシステムや証明書発行機については、学生便覧を見てください。

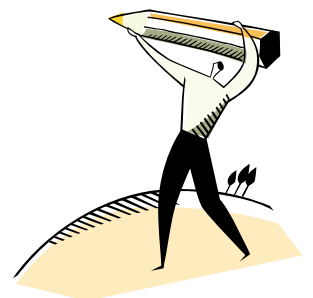
時間割を作成する前に

どの授業を受講するかは、皆さんにとって大変重要です。本日配付された「共通教育履修案内」等の資料をよく読んであらかじめ自分が受講すべき授業や受講したい授業を厳選し、履修申請表(ワークシート)作成の準備をするようにしてください。

特に皆さんは新しい共通教育課程ですので、先輩方とは単位修得について異なる部分も出てきます。まず、学部のオリエンテーションでしっかり説明を聞いてください。4月3日(金)の履修登録の際にわからない場合は、教員や先輩が指導する体制となっています。その他、わからないことがあったら、教育センター共通教育係の窓口に相談してください。

ワークシート作成については、次頁からの「時間割を作成してみよう!」の手順に従って作成することとなりますが、本学ホームページにも情報を掲載しています。以下の手順で、本学ホームページにアクセスしてください。インターネットにつながったパソコンであれば、どこからでもアクセスできます。

- ① 鹿児島大学のトップページを開く。
<http://www.kagoshima-u.ac.jp/>
- ② 「在学生の皆さま」をクリックする。
- ③ 「教育について」の「学部共通教育履修案内」をクリックする。
- ④ 「Menu」の中の「新入生の皆様」をクリックする。
- ⑤ 画面に記載された手順に従って検索していく。
(行事予定、履修登録の手順、履修上の注意、シラバスの閲覧方法を掲載)



時間割を作成してみよう!

大学では、高校までと違い、自分で履修する科目を決め、時間割を作成しなければなりません。履修案内やシラバスを良く読んで、履修申請表を使って自分だけの「オリジナル時間割表」を作成してみましょう。(前頁下線も参照)

この「オリジナル時間割表」に組み込んだ科目を、各自がコンピュータで登録する作業を「履修登録」と呼んでいます。

ここでは、4月1日(水)から4月17日(金)までのスケジュールを、簡単に説明していきます。

関連ページ



4月1日(水)

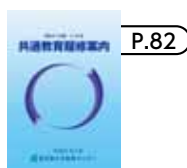
1 履修案内を開く



「平成27年度入学生共通教育履修案内」を開いてみましょう。p.10に「卒業要件単位数」について解説してあります。自分が卒業までにどの科目を何単位修得しなければならないのか確認しましょう。

2 授業時間割表を見る

4月1日(水)午前中のオリエンテーション資料配付の際に受け取った履修案内の中に入っている、「平成27年度入学生授業時間割表」を開いてみましょう。そして、自分の所属する学部・学科がどこに記載してあるかを確認しましょう。



3 開設授業科目表を見る

同封の「平成27年度前期開設授業科目表」は、曜日・時限ごとにどのような科目が開講されているのかを示す一覧表です。この「開設授業科目表」と、履修案内に添付してある「共通教育授業科目概要」や次に示す「シラバス」をうまく使うと、時間割が立てやすくなります。

4 Web上でシラバスを検索する

次に、共通教育のホームページ <http://kyoutsu.ku.as.kagoshima-u.ac.jp/>の「シラバス検索」で知りたい科目をチェック。

授業時間割表を見ながら、自分の空き時間に開講している授業科目のうち、どの科目を選択するか判断基準として、このシラバスを有効活用してください。

※シラバスは、鹿児島大学ホームページ > 在学生の皆さま > 教育関係各種システム > 学部等の講義概要(シラバス)からも検索できます。

5 時間割表を作成する

「履修申請表(ワークシート)」に自分が受講を希望する科目を記入していきましょう。



4月1日(水)・2日(木)

6 各学部オリエンテーションに出席する

各学部で開催される「オリエンテーション」に出席しましょう。各学部・学科ごとに、専門分野に関連してどういった科目を受講すべきかのアドバイスなどがありますので、必ず出席してください。

7 時間割表の修正を行う

オリエンテーションで受けたアドバイスを頭に入れて、作成した時間割表(ワークシート)を見直しましょう。間違っていたときは修正を行いましょう。

4月3日(金)

8 履修登録を行う

時間割表(ワークシート)を持って、共通教育棟1号館のパソコン教室に向かい、パソコンを利用して、時間割表に記入した科目を入力しましょう。所属学部ごとに集合時間は異なりますので、オリエンテーションで確認してください。



9 履修登録科目の確認を行う

パソコンで履修登録の確定処理を行った後、再度ログインし、登録した内容が正しく登録されているかを確認してください。

4月7日(火)

10 履修申請の追加

4月3日(金)に履修申請ができなかった学生や、受講制限などにより履修登録後「抽選もれ」した学生のために、入学式後の13時~16時の間、再度履修登録をすることができます。インターネットにつながるパソコンであればどこからでも履修登録を行うことができるので、履修登録内容を確認のうえ、必要に応じて追加登録を行ってください。

4月10日(金)

11 授業開始

さあ、いよいよ
大学での授業の
スタートです!

共通教育科目の授業教室の確認は、共通教育の掲示板に「授業教室一覧」を掲示しますので、授業前までに確認をしてください。また、共通教育ホームページ <http://kyoutsu.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>の「授業教室一覧」でも確認することもできます。

関連ページ



P.46

大学生の基礎知識

4月10日(金)

12 履修受付確認表で確認

履修受付確認表は学務WEBシステムで確認してください。

4月17日(金)

13 履修申請の変更を行う

前期の授業は4月10日(金)から開始されますが、1回目の講義を受講してみて、変更したい場合や、抽選もれ等があった場合は、この日に変更を行うことができます。

以上が「履修登録」方法の概要です。

詳細はオリエンテーション資料配付時に受け取った封筒(新入生関係資料)の中の「平成27年度新入生オリエンテーション資料(共通教育)」というプリントに目をおしてください。

さあ、がんばって始めてみよう!

共通教育係窓口から

時間割の組み立て方や履修登録等で、理解できない点、疑問に思う点があれば自分勝手な判断をしないで、必ず共通教育係窓口へ相談しましょう。誤った判断で履修登録をしてしまうと単位が認められないこともありますので十分注意してください。履修登録期間は、窓口が大変混雑しますので、自分の相談したいこと、質問したい内容をよく整理して相談してください。



パソコンの利用について

大学での学習は、履修登録やレポートの作成など、パソコンなしでは成り立ちません。

本学では、学生の皆さんが授業や自習・履修登録などに利用できるよう、学術情報基盤センターや仮設端末室（プレハブ）、附属図書館などにパソコン端末を設置し、高速の鹿児島大学キャンパス情報ネットワーク（KNIT）に接続しています。利用の際は各パソコン端末室の利用規則に従ってください。

また、共通教育の段階で「情報活用基礎」などの情報科学科目を設け、パソコンの基礎知識や利用技術、情報モラルの習得ができるようサポートしています。

利用証・メールアドレス パソコン端末室について

入学後、学生全員に学術情報基盤センターの利用証が発行されます。利用証は、端末室パソコンへのログインだけでなく、メールの利用やパスワードの初期化の際にも使用しますので無くさないように注意してください。

メールアドレスは、利用者ID + @kadai.jp で、卒業後も継続して使用できる生涯メール（office 365）となっています。

パソコン端末室（別表）は、授業で使用する場合が優先されますので、利用可能時間であっても各建物の掲示などで開放状況を前もって確認し、マナーを守って利用してください。



学術情報基盤センターホームページ
<http://www.cc.kagoshima-u.ac.jp/>

オープンネットワーク サービスの利用について

学術情報基盤センターの利用証を持っていれば、「学術情報基盤センター OpenNetwork」のシールが貼られている情報コンセント（有線LAN）やSSID「KNIT-ON2」のワイヤレスネットワーク（無線LAN）から、個人のパソコンや情報端末をKNITに接続するオープンネットワークサービスが利用できます。

共通教育棟では、すべての教室にオープンネットワークの有線LANが整備されています。また、共通教育棟1・2号館では、館内のほぼ全域で無線LANが利用できます。共通教育棟3・4号館の館内の一部でも利用できます。



（別表）パソコン端末一覧

設置建物	A 共通教育棟 1号館	B 学術情報 基盤センター	C 附属図書館
設置場所	123・134・135 136・137号教室	第1～4 端末室	中央 図書館 桜ヶ丘 分館 水産学 部分館
端末数	205台	190台	39台 15台 10台
利用可能時間	8:50～17:00 （月～金曜日） ※137号教室のみ 利用可	8:30～22:00 （月～金曜日） 13:00～18:00 （土・日曜日） ※授業時間を除く	各図書館 開館時間

関連ページ



○ [Question] パソコンの利用について
詳しく知るには？

[Answer]

履修案内のp.59～60または学生便覧をご覧になるか、学術情報基盤センターのホームページを参照してください。

○ [Question] 利用証のパスワードを忘れてたら
どうしたらよいですか？

[Answer]

学術情報基盤センターのホームページ
<http://www.cc.kagoshima-u.ac.jp/>を参照してください。

Moodleを活用してみよう!

鹿児島大学の共通教育では、Moodleというe-learningソフトウェアにより、出欠確認、授業の復習、レポートや課題の提出、教員への質問、小テストの実施など、双方向型の教育をサポートする学習環境を提供しています。学生同士の討論や意見交換、さらには、授業アンケートなどにも利用されています。インターネットにアクセスできるところなら、いつでもどこでも利用できます。特に、鹿児島大学のMoodleは、「携帯電話」からも利用が可能ですので、気軽に、積極的にMoodleを活用していくことで、学生生活を充実させていきましょう。

Moodleへのアクセス

パソコン版URL <https://idesk.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

携帯版URL <https://idesk.kuas.kagoshima-u.ac.jp/m>

※スマートフォンでMoodleを使う場合も携帯版URLからアクセスしてください。



ログインしてみよう!

- ①ユーザ名: 学術情報基盤センター利用証のID
(kから始まる8桁の番号)
- ②パスワード: 学術情報基盤センター利用証の
パスワード

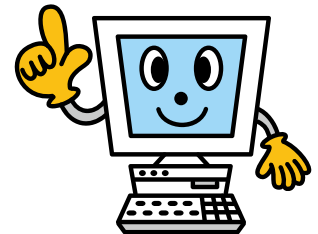
The screenshot shows the Moodle login interface. At the top, it says 'moodle'. Below that, it prompts the user to enter their username and password. There are two input fields: one for 'ユーザ名' (Username) and one for 'パスワード' (Password). Below the fields are two buttons: 'ログイン' (Login) and '取消' (Cancel).

携帯版
Moodle

パソコンから、個人情報を確認してみよう!

ログイン後、右上に表示される自分の名前をクリックしましょう。
「プロフィールの編集」から編集・確認ができます。

※先生との双方向のやり取りを可能にするためにも、メールアドレスの登録は忘れずに!



先輩からのメッセージ

大学の様々な講義で使用されるMoodleは、出席確認や講義資料の閲覧、講義の予習や復習、他の生徒との意見や資料の交換、アンケートの回答など、大学生活において幅広く利用することができます。

例えば私の受講した心理学の授業では、Moodleを講義中に利用していました。教授が与えた問題に対しその教室にいる100名以上の学生がリアルタイムに回答、講義で使用されているスクリーンにその結果が瞬時に反映され、その中で教授の想像する通りの心理結果が出ると、プリントで説明されるよりも説得性があり、より印象の強い学びを得ることができました。

この様に、講義によってはMoodleなどのe-ラーニングソフトを取り入れ、常に新しい取り組みへ挑戦を続ける姿勢も鹿児島大学の強みです。



法文学部
法政策学科4年
永友 絢子

窓口・掲示板・共通教育係からのお願い

皆さんが1~2年生で学ぶ、共通教育科目等の履修・成績に関する業務・相談は、教育センターの共通教育係で行っています。

専門教育科目等、学部に関することは、学部の窓口で確認しましょう。

(学部の窓口は、学部オリエンテーションでも確認してください。下記に連絡先を紹介します)

共通教育係は、共通教育科目等に関するメール連絡や各種証明書の発行を行っています。

休講や補講など重要な情報をメールで連絡するため、学務WEBシステムで学生カードのデータ入力が必要です。必ずパソコンから登録してください。自動証明書発行機を使用するためにも登録が必ず必要です。

他には、構内での落とし物も預かっています。共通教育係の窓口で遺失物棚がありますので、そこに届いているか確認してみてください。各学部学生係や学生会館などにも届けられていることもあります。記名があると、自分の手元に届きやすいです。

掲示板は 重要なお知らせツールです (※裏表紙の地図参照)

- 授業の休講・期末試験の日程表など、重要事項を掲示しますので、必ず定期的に掲示板を見るようにしてください。
- 集中講義については、掲示で募集内容・方法などを発表しますので、前期・後期とも見逃すことがないようにしてください。
- 掲示は、必ず自分自身の目で確認してください。
- メールや共通教育ホームページ(<http://kyoutsu.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>)でも周知しますので、確認するようにしてください。

共通教育係からのお願い

- 提出書類を出すときなど、共通教育係の指定する日に窓口に来られない場合は、事前に相談してください。
- 大学内で盗難事件が多発しております。貴重品などは、必ず肌身離さず所持してください。

窓口のオープン時間 (8:30~17:00 土日、祝日および年末年始等の大学の休業日は休み)

○共通教育担当の窓口

法文学部	099-285-3453	教育学部	099-285-3129	理学部	099-285-3454
医学部	099-285-3454	歯学部	099-285-3129	工学部	099-285-8830
農学部	099-285-8849	水産学部	099-285-8849	共同獣医学部	099-285-8849

(緊急時の共通教育に関する問い合わせのための電話番号)

○各学部(専門教育担当)の窓口

専門で学ぶ専門教育科目に関することなどは、以下の各学部の窓口で確認しましょう。

法文学部	099-285-7525	教育学部	099-285-7713	理学部	099-285-8025
医学部	099-275-6721	歯学部	099-275-6040	工学部	099-285-8232
農学部	099-285-8531	水産学部	099-286-4040	共同獣医学部	099-285-8531

各学部オリエンテーションでも説明がありますが、皆さんにはクラス担任教員が配置されます。クラス担任教員は、「共通教育履修案内」のP55~P57でも確認することができます。

○奨学金、授業料免除、サークル活動、学生寮などの窓口

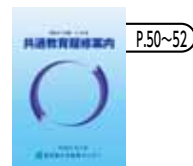
・奨学金	学生生活課学生企画係	099-285-8154・7335
・授業料免除	学生生活課経済支援係	099-285-7033・7312
・サークル活動	学生生活課課外活動係	099-285-7320・7322
・学生寮	学生生活課生活支援係	099-285-7340

■鹿児島大学学業成績優秀学生奨学金

学部学生を対象とした本学独自の奨学金制度として、鹿児島大学学業成績優秀学生奨学金を平成23年度に創設しました。本奨学金は、学生の勉学意欲及び修学環境の向上並びに優秀な人材の輩出を図ることを目的としており、学業成績が特に優秀であり、かつ、人物的にも優れた学生に対し、奨学金を給付します。詳細については、所属学部の学生係(学生支援係)又は学生部学生生活課学生企画係(TEL 285-7335)に問い合わせてください。

関連ページ





成績不振者への助言・指導について

教育センターでは、每期成績発表後に、当該の学期GPA値が1.5未満、第1期の修得単位数が10(歯学部は20)単位未満、第2期の修得単位数が6単位未満の学生(成績不振の学生)に対して、クラス担任等による面談方式の指導・助言を行っています。

成績不振が改善されないと、繰り返し助言・指導を受けることになります。

成績等開示請求及び異議申立て

共通教育科目等における成績評価などについて、開示請求ができます。また、授業等における成績判定などについて異議がある場合、異議申立てができる制度もあります。詳しくは履修案内のp.52を見てください。

再試験の結果について

成績判定は次の学期に行われるため、本試験が行われた期の進級・卒業判定の単位としては算定されませんので、特に注意してください。

補習教育について

本学では、高等学校までに未履修科目のある新入生や基礎学力を高めたい学生を対象に、次のような補習教育を提供しています。詳しくは各学部の学生係または教務係まで問い合わせてください。

『単元マスター型短期集中授業』(入学後)

数学・物理・英語について、単元ごとに学習内容を絞り、集中的に授業や演習を行います。

ピア・サポートについて

ピアサポートとは、同じ立場の人(ピア:peer)同士がサポートし合う制度で、鹿児島大学では平成24年度から始まりました。

学生生活にまだ慣れない皆さんの相談や質問に、上級生サポーターの鹿(カー)ナビがアドバイスします。

ちょっとした質問があったら、
お気軽にピア・サポートルームへ
お越しください。

時 間 主に昼休み時間
場 所 共通教育棟1号館1階(裏表紙地図参照)
問合せ先 電 話 099-285-7340(学生生活課生活支援係)
メール kanavi@gm.kagoshima-u.ac.jp

※こんな悩みを解決します。

- ・大学の勉強方法がわからない。
- ・履修登録の仕方がわからない。
- ・教室の場所がわからない。
- ・どんなサークルがあるかわからない。
など



鹿ナビマスケットキャラクター
ナビ鹿くん

ピア・サポーターからのアドバイス

- ・不明な点があったらピア・サポーター又は共通教育係で確認する。
- ・教育学部以外の学部で教員免許を取りたい人は、各学部の学生係で確認する。
- ・クラス分けがある科目には、自分がどの先生の講義をとるのが間違えないようにする。
- ・履修に関する条件がある場合があるので、毎日掲示板を確認する。
- ・集中講義の履修登録期間は掲示板を確認する。
- ・自分が修得した単位、あるいはこれから修得する単位数などの計画をきちんと立てる。
- ・履修登録の際によく分からないことがあったら、先輩や友達のアドバイスも参考にすると良い。
- ・ある分野に偏らず、あらゆる分野の講義を取った方がよい。

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(全分野の資料を所蔵)、桜ヶ丘分館(医学、歯学、看護関係資料を所蔵)、水産学部分館(水産学関係資料を所蔵)の3館で構成されており、皆さんはどの図書館でも利用することができます。

※中央図書館では入退館システムを導入していますので、入退館時には学生証が必要です。必ず携帯してください。

【開館時間】 中央図書館 月～金 8:30～21:30, 土日 10:00～18:00 (試験期の土日は8:30～21:30)
桜ヶ丘分館 月～金 8:30～21:30, 土日 10:00～18:00 (偶数月の第1土曜日は14:00～18:00)
水産学部分館 月～金 8:30～20:00, 土 10:00～17:00

【休館日】 年末年始等(12月27日～1月3日)、国民の祝日

資料の利用

館内には図書、雑誌(電子版含む)、新聞などの資料があります。図書や雑誌を借りる際は、学生証が必要です。資料の一部コピーが必要な場合は、有料で複写できます。

資料の探し方

資料の配置はフロア案内をご覧ください。オンライン目録(蔵書検索)を使って、所在場所を調べることもできます。雑誌記事や新聞記事は文献データベースで検索できます。

学外からの資料取り寄せ

学内にない図書や雑誌については、他大学図書館から複写物や資料の現物を有料で取り寄せることができます。

学習環境

閲覧席で学習できるほか、アメニティ・ルームやグループ学習室がありますので、少人数で話し合いをしながらの学習もできます。また、パソコンがありますので、インターネットでの情報収集、レポート作成などに利用できます。なお、3館で無線LANが利用可能です。

調査・相談

資料や情報収集、レポート作成の支援や図書館の利用などについて分からないことがあれば、気軽にカウンターに問い合わせてください。

利用者講習会

図書館の利用法、資料の探し方などの講習会を、利用者の要望に応じて随時開催しています。カウンターで受け付けています。

＜注意！＞図書館は多くの方が利用します。ほかの人の迷惑にならないよう、マナーを守りましょう。

携帯サイトURL



▲アメニティ・ルーム



先輩からのメッセージ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから、ワクワクドキドキの大学生生活が待っていますね。大学生は、とにかく自由です。だからこそ、時間の使い方がとても重要になってきます。その自由な時間の使い方として私が1つオススメすることは、本を読むことです。それは、直接会うことが難しい人にもその人が書いた本を読むことで、簡単に会うことができるからです。本を書いた人は、自分の経験や思いを真剣にその本に綴っています。なので、その人が書いた本を読むことで、まるでその人の話を直に聞いているかのようにその人の考え方や思いを理解することができます。これは、とても面白い体験です。是非本を通して、会いたい人に会ってみてはどうでしょうか。もしかしたら、大学生生活を送る上でためになることが見つかるかもしれません。

それでは、みなさんの大学生生活が素晴らしいものとなるよう、心から願っております。



農学研究科生物生産学専攻
修士2年
牛島由利絵

男女共同参画推進センター <http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

【場 所】事務局2階(総務部人事課となり)

【連絡先】電話：099-285-3012 Email：gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp

【鹿児島大学男女共同参画基本理念】平成22年1月21日制定

鹿児島大学は、大学憲章の精神に則り、教育・研究機関として男女共同参画のもとに社会貢献を続けることができる人材を育成・支援し、個々を尊重するとともに、一人ひとりがあらゆる場面において個性と能力を発揮できる大学を実現します。

「一人ひとりが伸びやかに 自分らしく輝くために」

新入生の皆さんへ

男女共同参画の視点でライフプランニングすることは、自分の納得いく生き方につながります。男女共同参画の意識醸成を目的に、共通教育科目「男女共同参画とキャリアデザイン」を開講(写真)、男女共同参画セミナーやキャリア形成セミナー、シンポジウム、交流会「museカフェ」等を開催しています。

この他、相談窓口(平日8:30-17:15に対応)を開設し、男女共同参画に係る制度や支援についての問い合わせにも応じています。

※muse(むぜ)：ギリシャ神話の女神「ムーサ」の英語名であるとともに、鹿児島弁の「むぜ：かわいい」を掛けた表現



保健管理センター

<http://hsc.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>

場所 事務局西隣(裏表紙地図参照)
桜ヶ丘キャンパス保健学科東研究棟 1階(桜ヶ丘分室)

電話 099-285-7385
099-275-6348(桜ヶ丘分室)

1 保健管理センターは何をしますか?

高校でいえば保健室ですが、診療所の認可を受けています。主な仕事は、学生の皆さんへの定期健康診断の実施とその後の指導、毎日の一般診療、禁煙相談、心理相談・精神保健相談などです(無料)。また、麻疹やインフルエンザなど、感染症対策の中心的役割も担っています。

2 診察時間は決まっていますか?

内科は、原則月・水・木・金曜日で、時間は9時~11時、14時~16時です。

その他の診察科は、それぞれ曜日、時間が異なりますので、大学のホームページの「診察・相談」の欄を見てください。

3 心の悩み相談はどんなものがありますか?

勉学への興味の喪失・不登校・引きこもりや、友だちとうまく話せないといった対人恐怖症、また不眠などがあります。精神科の先生とカウンセラーの先生が協力して相談・診療にあたっていますので、一人で悩まずに相談してください。秘密は厳守します。



ベテランの医師4名、保健師4名が常時勤務し、皆さんの利用を待っています。

保健管理センターからお伝えしたいこと

- ・タバコの煙は大切な命を奪います。
- ・“安全でない”セックスは大切な命を奪います。
- ・薬物(ドラッグ)の不正使用は犯罪です。
- ・一気飲みはしない、させない。
- ・‘いじり’も‘いじめ’も被害者にとっては同じです。
- ・受けた人に被害感があれば、それはハラスメントです。
- ・定期健康診断を受けましょう。

障害学生支援センター

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/syogaku/>

場所 共通教育棟 1号館 2F(修学支援室)

大学生活につまづきを感じている学生や障害のある学生からの、修学に関わる相談に応じます。支援要請に基づき、一人一人のニーズに応じた支援計画を作成します。教職員や保護者の方の相談も可能です。

「誰もが自分らしく学びあう」ことをサポートいたします。お気軽にご相談ください。

相談時間

8時30分~17時(月曜日~金曜日)

直接相談

共通教育棟 2F 修学支援室に直接お越し下さい。

電話での申込み

☎099-285-3287

Eメールでの申込み

learning-support@gm.kagoshima-u.ac.jp



この窓のお部屋になります。お気軽にお越し下さい。

学生何でも相談室

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/education/soudan.html>

場所 共通教育棟 1号館 2階(裏表紙地図参照)

**学生のみなさん、保護者のみなさん、
学生生活で何か困っていること、
悩んでいることはありませんか?**

学生生活を送る上でのさまざまな問題や悩み、迷いに対する相談窓口として、「学生何でも相談室」があります。まず、学生生活課職員が対応し、相談内容に応じて相談員(各学部学生生活委員会委員)や相談室長(理事(教育担当))、保健管理センターとも連絡しながら対応します。

一人で悩むより、よりよい解決策が見つかるかもしれません。

相談の内容について個人の秘密は守りますので、気軽に利用してください。

相談時間

8時30分~17時(土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

直接相談

「学生何でも相談室」にいつでもお越しください。必要に応じて、相談員の教員と調整を行います。

電話での相談

☎099-285-7311

Eメールでの相談

soudan@kuas.kagoshima-u.ac.jp

手紙での相談

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課「学生何でも相談室」宛



留学生センター

<http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/>

場所 共通教育棟1号館4階 (裏表紙地図参照)

電話 099-285-3601

E-mail isc@kuas.kagoshima-u.ac.jp

留学生と日本人学生の交流活動

- 留学生による母国紹介ポスターセッション……8月
- インターナショナルナイト……11月
- グローバルランゲージスペース(学習交流プラザ2階)
外国語学習、イベント……4~7月、10~1月



日本人学生向け 海外留学相談

- 短期派遣留学説明会
……前後期各1回
- 個別留学相談
……毎週

留学生、日本人学生の皆さん、
ともに学び、話し、遊び、キャンパス
ライフを充実したものにしましょう!

留学生センターは、留学生及び海外留学を希望する日本人学生に、
必要な教育、指導助言を行っています。

就職支援センター

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/career/>

場所 共通教育棟1号館1階 (裏表紙地図参照)

学部や学年を問わず、皆さんの進路をサポートします!

開室時間 8時30分~17時15分 (土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

電話 099-285-7341・7321

資料 企業・公共団体からの求人ファイル、会社四季報、就職関係書籍、鹿大生による就職試験結果報告書、
教員・公務員採用試験過去問題集、ビデオ・DVD、日本経済新聞 ほか

就職支援センターでの主な支援

- 求人票の提供(全国からの求人:年間約3,000件)
- 就職・進路相談(毎日:事前予約制)
- 就職支援センターHPから求人情報の検索も可能
- 就職活動関係のビデオ、DVDを視聴可能
- 就職ガイダンスや企業セミナー等の開催
- パソコンによる就職情報検索
- 既卒者の支援



ボランティア支援センター

<http://www.kagoshima-u.ac.jp/volunt/>

場所 共通教育棟1号館1階 (裏表紙地図参照)



鹿児島大学ボランティア支援センターは、学生のボランティア活動を支援し、ボ
ランティアを通じた地域貢献を行っていく拠点として、平成20年7月に設置されました。

ボランティア支援センターには、外部からのボランティア募集情報やボランティア
関連の参考書籍などもありますので、興味がある人はいつでも来てください。セン
ターの活動と運営をサポートする学生スタッフとボランティア経験のある職員が、あ
なたに合ったボランティア活動ができるようサポートします。

開室時間 10時~17時

※13時~14時は除く(土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

電話 099-285-3147 (FAX)099-285-3144

E-mail volunt1@kuas.kagoshima-u.ac.jp



キャンパスウォーク

皆さんがさらに充実した学生生活を送るのに欠かせない施設や活動などを少し紹介します。

●学生交流スペース

皆さんが自由に学習し、コミュニケーションを図るためのスペースが共通教育棟や稲盛アカデミー、各学部、中央図書館など随所にあります。また、学生を支援するピア・サポートルームが共通教育棟教育棟1号館1階にあります。ぜひご利用ください。



学生交流スペース(1号館)



●鹿児島大学生協同組合(鹿大生協)の活用

鹿大生協は、キャンパスライフの多くの場面で役立っています。

学食: 中央食堂、郡元南食堂(エテュカ)、ガロア、学習交流プラザ1階フードコーナー
※お得なマイルカードを発行して、皆さんの食生活をサポートしています。



中央食堂

ライフサポート・スタディサポート: 書籍、弁当、日用品などを扱っています。また、旅行や保険なども手配しています。

<http://kyushu.seikyoku.ne.jp/ku-coop/>

●学習交流プラザ

グループ学習室や飲食しながら学習ができるラウンジなどがあり、多様な学習形態に対応した施設となっています。

開館時間: 8時30分~21時

休館日: 日曜日、祝日、年末年始



●サークル・課外活動

文化系54、音楽系15、体育系50の計119サークルが、学生サークル会館を中心に活動しています。

※学生便覧の「@課外活動」をご覧ください。

毎年11月に開催される「鹿大祭」は、活動の総決算の場で、神輿パレードや模擬店、展示、ライブ、講演会などの企画をととして、学生だけではなく、卒業生、市民との交流の機会になっています。



●災害発生時避難場所

稲盛アカデミー棟は玉利池西側
共通教育棟1号館・2号館は憩いの広場
共通教育棟3号館・4号館は建物南側
第2体育館は体育館入口前方広場

